消　化

|  |  |
| --- | --- |
| 食欲とは | [空腹](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A9%BA%E8%85%B9)として感じられる[食物](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A3%9F%E7%89%A9)を[食べる](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A3%9F%E3%81%B9%E3%82%8B)願望。* 本能的食欲：生命維持のため
* 精神的食欲：感覚器からの刺激によるもの

神経的刺激：胃の収縮や伸長化学的刺激：血糖値、血中遊離脂肪酸量、インスリン、エストロゲン物理的刺激：寒い・暑い心理的刺激：視覚、臭覚、聴覚 |
| 消化の定義 | 生体が物質を[化学](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%96%E5%AD%A6)的に処理して利用可能な[栄養素](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A0%84%E9%A4%8A%E7%B4%A0)にする工程のこと。炭水化物をブドウ糖、タンパク質をアミノ酸、そして脂肪を脂肪酸やグリセリンなどの低分子物質に分解して吸収器官から体内に取り込んでいく。 |
| 食物繊維 | 生物が持つ消化酵素で消化されない、難消化性成分の相称。 |
| 口 | 食物を砕いて取り込む器官。消化酵素：唾液腺からアミラーゼを分泌（唾液腺）：デンプンをマルトースに分解 |
| 食道 | 食物が胃に送り込まれる際に通過する管状の器官。 |
| 胃 | 食物の初期分解器官（酸性）。消化酵素：胃酸　タンパク質分解と脂肪分解を行う。ホルモン：ガストリン |
| 十二指腸 | 胃と小腸をつなぐ消化管（アルカリ性）：胃酸を中和する機能があり。膵臓液と胆汁の分泌消化酵素：アミラーゼ、マルターゼ；ペプシン、トリプシン、キモトリプシン、カルボシキシペプチダーゼホルモン：セクレチン、コレシストキニン |
| 小腸 | 胃と大腸の間に位置する３ｍほどの消化器官。消化と吸収を行う。小腸はひだ状になっており、その表面には絨毛、そしてその表面は微絨毛で覆われている。これらは吸収する表面積を増やしている。消化酵素：マルターゼ、ラクターゼ、スクラーゼ、種々のペプチターゼ |
| 大腸 | 小腸と肛門の間にある消化器官（盲腸から直腸）細菌による食物繊維の発酵と水の吸収が行われる。 |
| 肝臓 | 代謝：栄養素を分解したり合成したりして身体が利用できる形に作り変えるために、栄養素を分解・合成する機能。例えば　アルコール分解解毒：食物の中に含まれる生物にとって有害な物質を無毒化して体外に放出する働き。アンモニアを尿素に変える消化：胆汁を作る。体液の恒常性の維持などの重要な働き |
| 膵臓 | 様々な消化酵素やホルモンを分泌する。内分泌機能：インシュリンとグルカゴン血中に分泌外分泌機能：膵液（十二指腸を参照）十二指腸から分泌 |
| 排出の定義 | [老廃物](http://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E8%80%81%E5%BB%83%E7%89%A9&action=edit&redlink=1)（[物質代謝](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%89%A9%E8%B3%AA%E4%BB%A3%E8%AC%9D)の結果生じた不要物や有害物）等を、生物が体外[遊離](http://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E9%81%8A%E9%9B%A2&action=edit&redlink=1)させる現象である。排出物としては尿と胆汁 |
| 腎臓 | 体内の塩分量調節や水分量の調整、老廃物や有害物質の排出を行う器官アンモニア：肝臓で尿素に転換されて腎臓から排出内分泌器官：血圧の制御 |